

第2学年 生活科 わくわくサポートプラン

令和3年10月22日（金曜日）第3時限 多目的室

授業者 戸塚 由美子

1 単元名 わたしの町 はっけん ～見つけたよ。町のひみつ～

2 単元の目標

町探検や町の人と関わる活動を通して、自分たちの生活と地域の人々や様々な場所との関わりに気づき、地域に親しみや愛着をもって、地域の一員として安全に楽しく生活したり、地域の人と進んで交流したりすることができるようにする。

3 単元の全体計画（42時間完了）（国語科で別途15時間行う）

学習過程	時数	活動内容
① ふれる①	10	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学区内をみんなで歩き、春の生き物の様子、町の様子、働いている人の様子などを調べる。 ○ 学区内を歩いて気付いたことを、学区地図に記入してまとめる。
② ふれる②	4	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1学期の探検を基に気になるお店などを探検し、町には生活したり働いたりしている人がいることや、素敵な場所があることに気付く。
③ 問いの設定と 企画書作成① <small>（町のすてき見つけ編）</small>	2	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検した場所の中から、もっと調べたい場所や仕事、会いたい人を決めグループを作る。 ○ 探検のめあてや、めあて達成のために必要なことなどについて話し合い活動の見通しをもつ。
④ 探究活動①	9	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検する場所で調べたいことや聞きたいことを自分で考え、同じお店に行くグループで相談する。 <div style="border: 1px solid black; background-color: #e6f2ff; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">国語科「しつもんしたり答えたりして、話し合おう」 （9時間）</p> </div> <p style="text-align: center;">互いの考えの共通点や相違点を捉えて、質問したり答えたりして、自分の考えが伝わるように話し合えることができるようにする学習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループごとにお店での挨拶や質問、写真の撮影の仕方を練習する。 ○ 探検してインタビュー等を行う。 ○ 見付けたことを整理する。 ○ 毎時間、探究活動に入る前には自分のめあてを考えて、企画書・学習履歴図に記入する。また、各時間の終わりには、自分の活動を振り返り、次の学習のめあての設定へとつなげる。
⑤ 新たな問いの 設定と 企画書作成② <small>（町のたから発表会 じゅんぴ編）</small>	3	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検で見付けたことや気付いたことなどを生かして、何ができるか考える。 ○ 矢田学区を知らない他都市の2年生に伝えようと投げかけ、埼玉県戸田市立喜沢小学校2年生と「町のたから発表会」を行うことにする。 ○ 「町のたから発表会」ができるよう、発表方法を考え、工夫して紹介する準備を行うことができるように企画書を作成する。
⑥ 探究活動②	11 本時 7/11	<ul style="list-style-type: none"> ○ 探検で見付けた、秘密や素敵なことを整理し、自分が伝えたいことが何かに気付く。 ○ 「町のたから発表会」に向けて準備を進める。その際、毎時間、活動前には自分のめあてを考えて学習履歴図に記入し、活動の終わりには自分の活動を振り返り、次の活動のめあての設定につなげるができるようにする。

		<p style="text-align: center;">国語科「まとまりを考えて書こう」 (6時間)</p> <p>探検で分かったことを「見つけたこと」や「聞いたこと」などに分けて整理し、「はじめ・中・おわり」のまとまりを考えて文章にまとめる学習を行う。</p> <p>○ 保護者に向けてオンライン(Zoom)で「町のたから発表会」リハーサルを行い、アドバイスをもらってより良い発表ができるようにする。(本時)</p> <p>○ 保護者や他のグループの友達からのアドバイスを参考に、より良い発表ができるように工夫し練習する。</p>
⑦ 発表	2	○ 探検での経験を生かして、埼玉県戸田市立喜沢小学校2年生とオンライン(Zoom)で「町のたから発表会」を行い、お互いの感想や気付きを伝え合う。
⑧ ふりかえり	1	○ プロジェクト全体を振り返って、何を学んだか、付けた力があったか、ゴールが達成できたか(ゴールにどれだけ近付いたか)、残った課題は何かを考える

4 本時の展開 (本時 35 / 42)

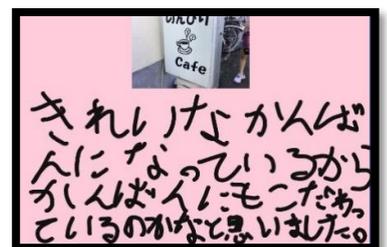
(1) 学習経過

① 「ふれる①」

1学期の「春の町はっけん」の町探検では、春の町の様子に気付き、自然に触れ合うことを主活動として行った。また、2学期からの「わたしの町はっけん」に向けて、学区内で子どもたちの知っていそうな施設やお店の近くを歩き、「図書館があるね。」「道路の反対側に郵便局が見えるよ。」などと確認した。子どもからも「図書館には毎週行ってるよ!」「あっちにはスポーツセンターもあるんだ。」などと自分の生活を振り返りながら楽しそうに話す姿が見られた。探検後には、町で見付けた施設や学区内の知っているお店を学級みんなで思い出し、絵地図に表した。自分の家の近くのお店の話になると、次々と発言が増え、身近なことや知っていることを伝えたいという思いの強さを感じた。

② 「ふれる②」

2学期に入り、「わたしの町はっけん」の1回目の町探検は、10の施設やお店(以下、場所と表記)で見学できることを伝えた後、学年のみんなで場所の位置を確認し、タブレットPCで外から写真を撮った。探検後には、ロイロノート・スクール(以下、ロイロノートと表記)を用いて、撮ってきた写真を見ながら気づいたことや疑問に思ったことを書き込み、スライドに表した。「かんぱんの絵がおいしそうで行ってみたい。」「温泉気持ちよさそうだな。」「これは何のために使うんだろう?」などと様々な思いを書き込んでおり、子どもたちなりの気付きをもつことができていた。

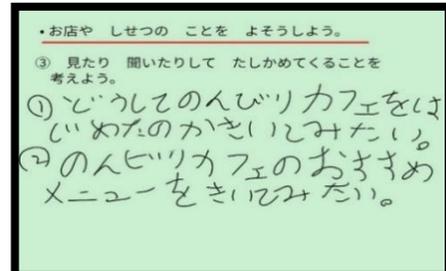
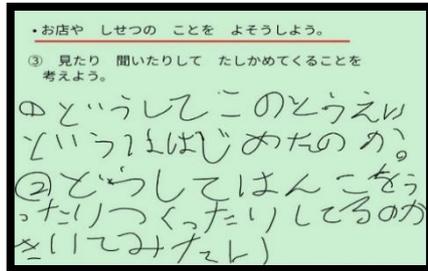


ロイロノートに記入した「気づいたこと」

③ 「問いの設定と企画書作成① (町のすてき見つけ編)」

最終のゴールは、Zoomで埼玉県戸田市立喜沢小学校の2年生とお互いが探検して見付けたことを発表し合うことだと伝えると、子どもたちは口々に「わあ! やりたーい!」「楽しそう!」と声を上げ、早く取り組みたい様子を見せていた。その上で、10の場所の中から子どもたちの希望を取り、探検したい場所2か所を回るグループを、学年の中でクラスをまたいで編成した(全10グループ)。決まったグループを子どもたちに発表した後、各自が探検する場所で見たり聞いたりして確かめてきたいことを考えた。

自分の考えをもったうえでグループの顔合わせを行い、探検までの準備で何をするとよいかをグループごとに話し合った。しかし、クラスをまたいでのグループになるのは初めてで、気持ちが高ぶってしまったり、顔合わせに時間が掛かったりと、うまく話し合いができないグループが多かった。そこで、準備の流れを上手に考えられたグループを紹介し、再度、探検までの準備で何をするとよいかをグループごとに話し合ったところ、ほとんどのグループが準備の流れについて見通しをもつことができるようになった。



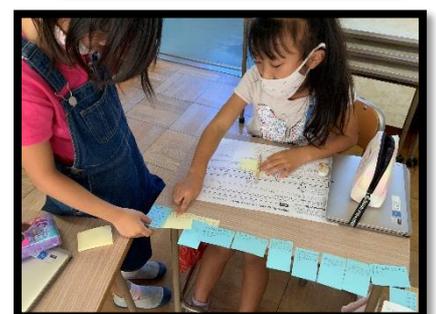
探検場所が決まってから考えた「たしかめてきたいこと」

④「探究活動①」

班長や副班長、時計係、写真係があるといいことを確認し、各グループで役割を決めた。その後、グループごとの話し合いでは、ロイロノートに記入していた「たしかめたいこと」を見せながら話し合うグループが多かった。だが、グループの人数が5人から10人と多く、大人数での話し合いをした経験もほとんどなかったため、うまく話し合いを進められなかったり、一人一人がロイロノートに打ち込むだけで話し合いをした気分になっていたりして、「たしかめたいこと」は何なのか、どうしてそれを確かめたいと思っているのかといった、互いの考えを深めてインタビューする項目を決める様子は見られなかった。

そこで、グループの中で場所の担当を決めるよう促すと、各グループ内で3～5人の担当に上手に分担できていたので、〇〇特派員と命名し、自分の担当の場所について、より意欲的に探検できるようにした。また、付箋を用いて、探検する場所について「知っていること」を挙げるよう促し、「知っていること」や撮ってきた写真から「知りたいこと」「たしかめたいこと」を考えるようアドバイスすると、どの子も付箋に書き込むことができ、たくさん書こうと一生懸命考える子どもも多く見られた。全員が書き終わって次はどうか悩んでいるグループがあったので「特派員同士で、書いた付箋を見せ合うといいんじゃないかな。」と声を掛けると、「同じこと書いてるね。」「そっちの質問のほうがいいかも。」などと話し合いが活発になった。他のグループでも、「歳を聞くのは失礼だよ。しかもお仕事の秘密とは関係ないし。」と内容を吟味する姿や、同じ内容の付箋を集めて「3枚もあった！これ絶対聞いた方がいいよね。」と確認し合う姿が見られた。

その後、「知りたいこと」「たしかめたいこと」として書いた付箋をもとに質問を考え、役割分担や並び順など、必要なことを決めたグループは、それぞれ「リハーサル」や「練習」と言って、探検へ行って帰ってくるまでの歩き方や質問の仕方などを練習し、探検当日を迎えた。



付箋を用いた話し合いの様子

探検当日は、10グループがそれぞれの場所で約30分ずつ見学をさせてもらった。質問をしてメモに書き込んだり、許可をもらってから写真を撮ったり、機械を触らせてもらったりと、本物に触れる体験をして、生き生きと活動する子がほとんどだった。

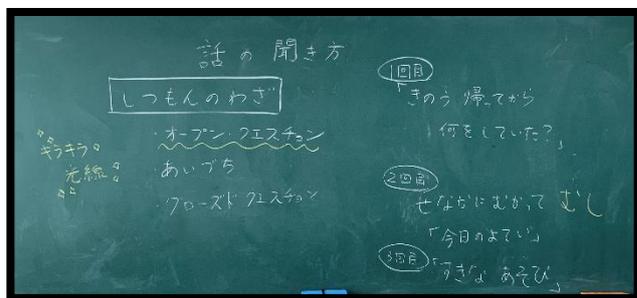


グループごとの探検で質問する様子

探検を終えてから、各グループで見てきたことをまとめる活動をした。主に、インタビューした内容が合っているかの確認や、写真をロイロノートに取り込むこと、写真を見ながらどんなものがあったかを思い出すことなどをした。必要に応じてインタビュー用紙やロイロノートなど適切な学習用具を選んでまとめる姿が見られたものの、ロイロノートを使いたい気持ちが強く、不必要にタブレットPCを開く児童もおり、活用できているとは言い難かった。

【国語科の学習と合科的に】

話し合い活動に不慣れな子が多く、グループでの話し合いがうまく進まない様子だったので、国語科「しつもんしたり答えたりして、話し合おう」の単元を通して、話し合いの仕方を学習した。まず、話を聞くときには相手に好意的な視線を送りながら聞くと相手が話しやすくなることを伝え、目を見て全てを肯定しながら聞く聞き方と背中を向けて全く聞かない聞き方の二通りを体験させた。受け止めてもらいながら聞いてもらうと話しやすくなることを感じたところで、「しつものわざ」カードを一人1枚配布し、カードを見ながら二人組で話し合う練習を行った。話すテーマや話す相手を何度か変えながら話すことで、少しずつ話し合いが上手になっていった。



板書と「しつものわざ」カードを見ながら話し合う子どもの様子

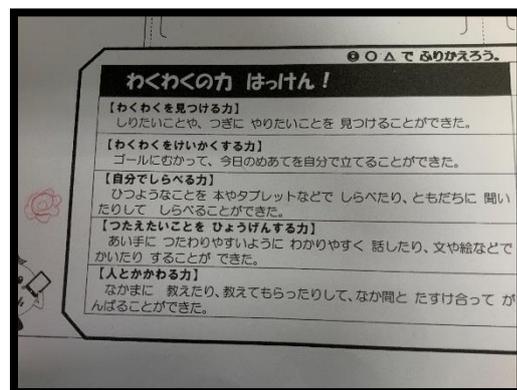
⑤ 「新たな問いの設定と企画書作成②（町のたからはっぴょう会じゅんぴ編）」

探検のまとめを終えた子どもたちに、これから何をするのか尋ねると、「喜沢小の2年生と早く発表会をしたい!」「見つけてきたことを伝えたい!」と、今すぐ発表会をしたいぐらいに気

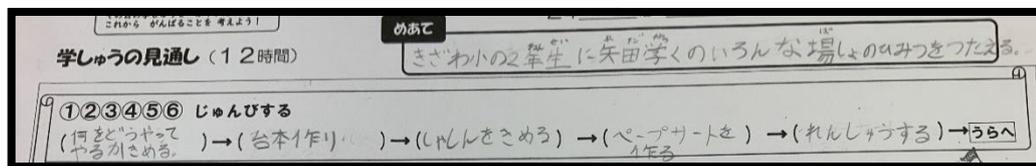
持ちが高まっていた。そこで、喜沢小の2年生に何を伝えたいのか聞いてみると、「ローソンで見せてもらった大きな冷蔵庫！冷蔵庫にはね、……。」と話し始める子がいたので、各自の伝えたいことを大きくまとめて言うと何になるか考えてもらった。秘密、すごい、素敵、宝、と出てきて、人によって言葉は違うけれど伝えたい思いは同じであることを確認し、大きなめあてを「喜沢小の2年生に、矢田の色々な場所の宝（秘密や素敵やすごい）を伝えよう。」に決めた。

その後、喜沢小との発表が終わったときに、自分にどんな力が付いているとよいかを考えさせた。1学期のわくわく学習や、町探検の探究活動①では、どんな力を付けたいかまで考えることはなく、最後にどんな力が付いたと思うか尋ねていた。しかし、自分でこうなりたい、こうなっていたらこの学習はよくできたと自己評価できるよう、「2年生で付けたい力」の中から一つ選び、花丸で示すように話をした。

また、発表に向けて準備するにあたり、1グループの発表時間は3分であること、探検した二つの場所のうち一つを選んで発表すること、グループは一緒に探検に行ったグループが基本だが伝えたい場所を優先していいので他のグループに合流してもよいことを伝え、どの場所を発表するか決めるようにした。95年の歴史のある東栄堂を選んだ子は、「戦争前からやってるなんですよすごいから、絶対伝えたい。一人でも発表する！」と意気込んでいたところ、もう一人の子がその話を聞いて「そっかあ。戦争より前からって本当にすごいことだね。私もやる。」と二人で発表することになった。子どもたちの希望した発表場所は8か所となり、そのまま8つのグループで準備・発表を進めることにした。



各自が決めた付けたい力に花丸をしたもの



子どもと考えた大きなめあてとグループごとに考えた学習の見通し

⑥「探究活動②」 ※第4時まで

まず、発表でどうしても伝えたいことをグループの中で考え、一つか二つにしぼった。次に、伝えたいことを、より伝わりやすく発表するにはどんな方法が良いかを考えるよう促すと、一部の子から、歌、劇、写真を見せる、絵に描く、紙芝居など、多岐にわたる発表方法が出てきた。一方で、発表のイメージが湧かない子も多くいたため、昨年度の発表の様子を動画や写真で紹介すると、なんとなくイメージが湧いてきたようで、グループごとにどんな発表方法にするかを決めることができた。

その後、グループごとにどんな準備が必要かを考え、台本を作ったり、写真を選んだり、ペープサートを作ったりと、準備を進めていった。「台本ができた！」と喜んでいるので練習するよう促すと「1分しかなかった。もっと付け足す。」と中身を増やすグループもあれば、どの写真を使うか相談しながらロイロノートに説明を打ち込むグループもあり、それぞれのグループがそれぞれのやり方で、準備や練習を進めていた。

準備を進める中、すぐに「先生」と質問をしに来る子どももまだ多くいたため、まず自分で考え、次に友達に相談し、どうしても困ったら先生を呼ぶよう伝えた。すると、台本作りが進まずに困っていたグループに対し、台本を作り終えたグループの子が声を掛け、アドバ

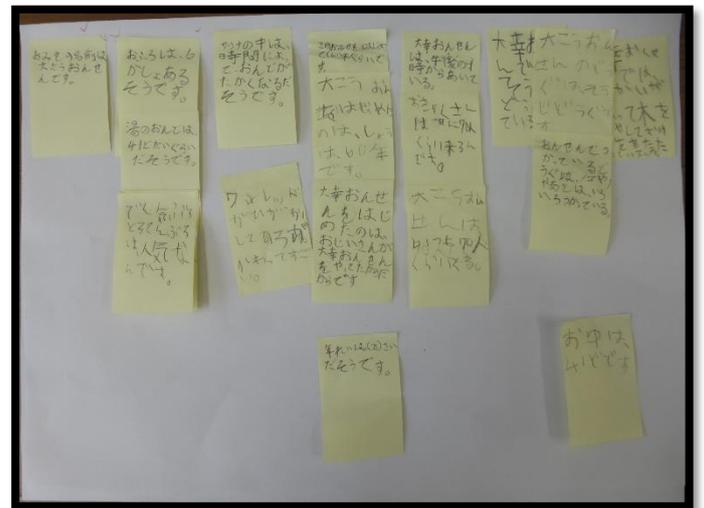
イスする姿が見られた。その様子を学級全体で紹介したところ、他のグループ同士でも教え合ったり発表の練習を見せ合ったりと、友達と関わり合う姿が少しずつ見られるようになった。



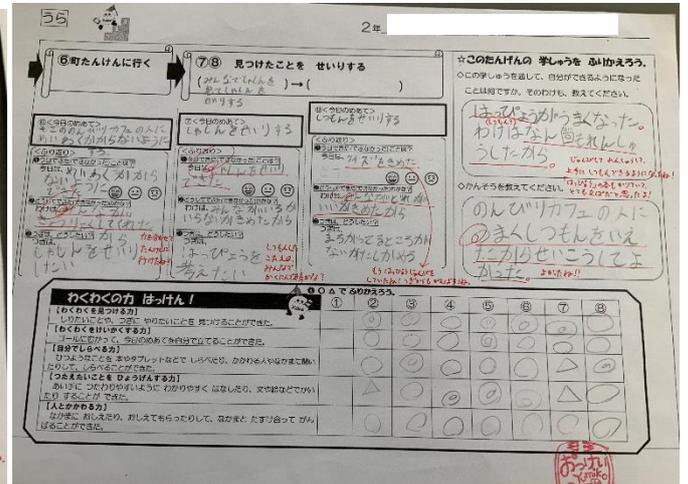
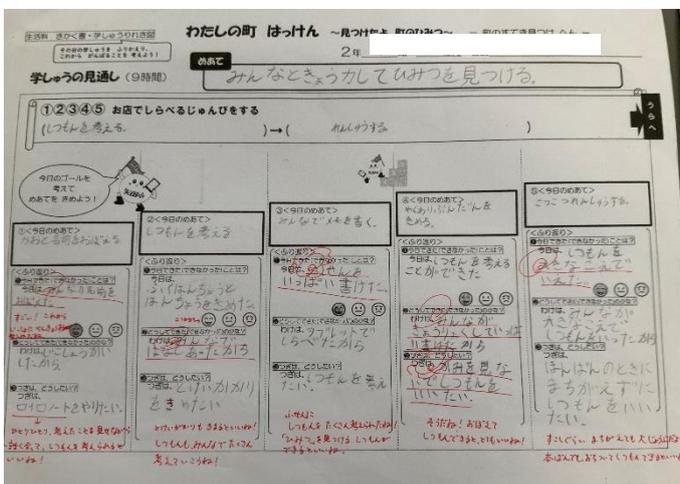
グループごとに準備を進める様子

【国語科の学習と合科的に】

国語科「まとまりを考えて書こう」の単元を用いて、「はじめ・中・おわり」のまとまりを考えて文章にまとめる学習を行った。グループごとに、見たこと・聞いたこと・やったこと（やらせてもらったこと）を付箋にできるだけたくさん書き出すよう促した。「20枚書けるといいね。」と話す、グループによっては「30枚いった!」「もっと書く!」と言いながら書いていた。その後、伝えたいことに関係のあるものや、説明するためにあると良いものを選ぶよう話すと、どのグループも付箋の枚数を半分ぐらいに選ぶことができた。そして、付箋の順番を考えて貼り替えながら、「中」にあたる部分の構成を子どもたちなりに作っていくことができた。



子どものまとめた付箋



企画書・学習履歴図（町のすてき見つけ編）

(2) 展開

展開	主な学習活動と子どもの様子
<p>つかむ (8分)</p> <p>探究活動 (30分)</p>	<p>1 本時の学習内容を確認する。 喜沢小との発表をより良いものにするために、本時ではZoomでの発表を保護者に向けて練習し、アドバイスをもらうことを確認する。</p> <p>喜沢小の友だちに伝えるためのアドバイスを お家の人からもらいましょう。</p> <p>【探検場所】 <ul style="list-style-type: none"> ・東栄堂 (はんこ屋)・のんびり Cafe ・中日新聞矢田専売所神野新聞店 ・JR 大曾根駅・名古屋市立東図書館 ・共立モータース商会・大幸温泉 ・ローソン 東区矢田五丁目 </p> <p>2 探検場所ごとのグループで、Zoomを用いて保護者に発表をする。</p> <p>クイズです。大幸温泉の人気のお風呂は なんでしょう？</p> <p>この共立モータースは、車の修理 をしています。</p>
<p>振り 返り (7分)</p>	<p>お家の人アドバイスを生かして喜沢小学校の人への発表では、 どこを変えるといいかな。</p> <p>東図書館には、本が11万冊あります。</p> <p>3 本時の活動内容を振り返る。 顔マークによる評価「できた(できなかった)こと」「わけ」「次はどうしたいのか」を記入し、本時の学習を振り返り次時の学習につなげられるようにする。</p> <p>お家の人にうまく伝えられたから ここは◎かな。</p> <p>わたしは、のんびりCaféの すてきをもっとうまく伝えられるように アドバイスをもらったよ。</p>

アドバイスカード

2年 組 _____ 様

お子さんの発表したグループの施設やお店の名前

・以下の観点について、「すごい」「いいね」「もうひといき」のいずれかに○をつけてください。

観点（評価してほしいところ）	すごい	いいね	もうひといき
子どもたちの伝えたい「だから」が伝わりましたか。			
働いている人の気持ちや願いが伝わる発表でしたか。			

・アドバイスをご記入ください。

（施設やお店についてご存じの「だから」がありましたら、教えていただくと嬉しいです。）

【アドバイスカード保護者用】

5 矢田小学校「わくわく学習」でつけたたい力(2年)

評価基準	具体的な姿
わくわくを見つける力	○ 体験や活動の中で、知りたいことや、やってみたいことを見つけることができる。
わくわくを計画する力	○ 課題解決のための見通しや、めあてをもつことができる。
自分で調べる力	○ 必要なことを本やタブレットで調べたり、友達と教え合ったりすることができる。
伝えたいことを表現する力	○ 伝えたいことを分かりやすく話したり、短い文や絵でかいたりすることができる。
人と関わる力	○ 友達と力を合わせて活動することができる。 ○ 自分と違う意見や考えを認めることができる。
自分を見つめる力	○ 学びを振り返り、自分の成長に気付くことができる。